

授業科目名	弓道		授業形態	実技		授業科目区分	専門科目 (関連実技科目)		
担当教員名	柚木 秀一					補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	2,4		受け入れ人数	20		
授業の概要	日本古来の武道である弓道を修練する場合、その基準となり法則となっている射法を理解して、一本の矢を射る過程を全日本弓道連盟が定めている基本動作を始めとする諸動作、そして射法八節を中心とする射法、射技の基本を実技により習熟させる。また、弓具の名称、取り扱い方を熟知させる。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技力、実技指導力 (実技力、実技指導力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	認知的領域	弓道習得の過程において心身を鍛錬しながら人間完成を図る。							20
情意的領域	伝統的な武道として礼節を重んじて、他との融和を図り、真善美を追求する。							30	
技能的領域	射法八節に基づき1手(2本)を行射する要領を習得する。							50	
成績評価の基準	出席回数が3分の2以上で、射法八節の習熟度、授業への取り組み状況等を総合的に評価し、60点以上のものを合格とする。								
テキスト、教材 参考書	参考書 : 全日本弓道連盟発行「弓道教本 第1巻 射法偏」								
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッセージ含む)	1 弓道場内は素足禁止。 2 長髪は後ろで束ねること。 3 胸部がダブつく服装は控えること。					
オフィス・アワー	授業実施日の授業前後の時間帯(弓道場)								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容					授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	柚木 秀一	オリエンテーション(心構え、弓道場でのマナー) ・日本の弓の歴史と現代の弓道の目的、弓具の名称及び取り扱い ・射法八節の説明 ・徒手による射法八節の実技					実施した実技内容を復習する(15分)		
2	"	ゴム弓による射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
3	"	ゴム弓による射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
4	"	索引きによる射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
5	"	索引きによる射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
6	"	矢を番えて引く射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
7	"	巻き藁での射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
8	"	巻き藁での射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
9	"	巻き藁での射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
10	"	矢道の中ほどから、立射による射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
11	"	矢道の中ほどから、立射による射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
12	"	矢道の中ほどから、立射による射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
13	"	射場から、立射による射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
14	"	射場から、立射による射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		
15	"	射場から、立射による射法八節の実技及び基本動作					実施した実技内容を復習する(15分)		